

信託法案に対する修正案新旧対照条文

(傍線部分は修正部分)

信託法(平成十八年法律第 号)

修正案	原案
<p>附則</p> <p>(受益者の定めのない信託に関する経過措置)</p> <p>3 受益者の定めのない信託(学術、<u>技芸、慈善、祭祀、宗教その他公益を目的とするものを除く。</u>)は、別に法律で定める日までの間、当該信託に関する信託事務を適正に処理するに足りる財産的基礎及び人的構成を有する者として政令で定める法人以外の者を受託者としてすることができない。</p> <p>4 前項の別に法律で定める日については、受益者の定めのない信託のうち学術、<u>技芸、慈善、祭祀、宗教その他公益を目的とする信託に係る見直しの状況その他の事情を踏まえて検討するものとし、その結果に基づいて定めるものとする。</u></p>	<p>附則</p> <p>(受益者の定めのない信託に関する経過措置)</p> <p>3 受益者の定めのない信託(学術、<u>技芸、慈善、祭祀、宗教その他公益を目的とするものを除く。</u>)は、<u>当分の間、</u>政令で定める法人以外の者を受託者としてすることができない。</p> <p>(新設)</p>